

住み慣れた地域で自分らしく安心して暮らせるまちづくり  
 ~めざそう 生涯現役で支え合うまち 北杜~

北杜市総合計画・北杜市総合戦略

- 地域福祉計画
- 健康増進計画
- 障害者計画・障害福祉計画・障害児福祉計画
- 特定健康診査等実施計画
- データヘルス計画
- 子ども・子育て支援事業計画
- 食育推進計画
- 国土強靱地域計画
- 地域防災計画等

介護保険事業計画策定委員会

③④⑤

地域包括支援センター運営協議会

地域ケア推進会議

②③④⑤

生活支援体制整備協議体

②③④

市全体としての地域課題への取り組みの検討

認知症地域支援ネットワーク推進協議会  
(未設置)

②③④

地域ケア会議  
 ・地域ケア連絡会  
 ・自立支援型地域ケア個別会議  
 ・支援困難型地域ケア個別会議  
 ・事例検討会

①②③

在宅医療・介護連携推進会議

②③④

高齢者等の病気予防や地域づくりのための連携調整  
(介護支援課・健康増進課・市民サービス課・福祉課等)

サービス調整会議

⑤政策形成機能

・市町村が中心となって、既存の施策や予算等では、地域の課題を解決していく事が困難だと考えられる場合に、解決へ向けた新たな施策の立案や実行に繋げていく機能。  
 ・③で発見された課題に対し、④を推進する為に、あるいは④でも対応しきれない地域課題の解決策を企画・立案し、医療、介護、予防、生活支援、住まい等の視点から社会基盤の整備等について行政計画等に位置付けていく。

④地域づくり・資源開発機能

・インフォーマルサービスや地域の見守りネットワーク等、必要な資源を地域で開発していく機能。  
 ・それぞれの地域の特性に合わせ、その地域ならではの資源を掘り起こす事が資源開発である。  
 ・住民はサービスの受け手としての側面を持つ一方で、自らの地域に愛着を持ち、そこに住む者同士でより良い方策を見つけ出す力を持っている。このような地域の力を引き出す事が地域づくりには特に重要である。  
 ・包括センターの担当圏域を超える場合や、市町村全体に掛かる地域課題については、市町村が中心となって地域づくりや必要な資源開発に向けた検討が重要である。

③地域課題発見機能

・個別ケースの背後に潜在している、同様のニーズを抱えた住民やその予備軍を見出し、地域の現状等を勘案しながら、解決すべき地域課題と優先度を明らかにする機能。  
 ・発見された課題に対する解決策・改善策を検討するプロセスで、どの機関がどのような役割を担えるか、誰が何をすべきか等が明らかになる。  
 ・在宅生活の継続に向けて、地域のあらゆる資源を連結させ、限界点を上げる事により、その体験は他のケースにも活かされる。  
 ・包括センター単独では解決できない地域課題については、市町村との課題の共有等により共に地域づくりや政策形成につなげていく必要がある。

②ネットワーク機能機能

・地域の支援者等の相互の連携を高める機能。  
 ・地域の支援者を含む多職種が協働して行う個別ケースの検討等を通じて、個別課題を解決する為に必要な関係機関等の役割が明らかになるとともに、同じ目標に向かって協働し成功体験を共有することによって、連携が強固かつ実践的なものになり、結果として①も高まる。  
 ・検討内容によって、住民や地区組織も参加する事により、専門職だけでなく、住民同士のネットワークを築く事もできる。

①個別課題解決機能

・個別ケースについて地域の支援者を含めた多職種が多角的視点から検討を行うことにより、個別課題の解決を行う。  
 ・そうしたプロセスを通して、包括センター職員や介護支援専門員等の実践上の課題解決力向上を図ることで、自立支援に資するケアマネジメント等の資を高める。